



佐渡特別支援学校だより

新潟県立佐渡特別支援学校
連絡先：(0259) 22-2145

第311号
令和6年3月21日

アフターコロナから歩み出した1年間

教頭 本間 学

昨年の5月8日にコロナウイルス感染症が5類感染症へ移行され、以前のような教育活動ができるようになりました。そこで、これまで制限されてきた教育活動について再検討し、全校一斉参加の学校行事や他校、地域と連携した教育活動を実施しました。

5月には、グラウンドで全学部が一斉に参加する運動会を行いました。4年ぶりの全学部一斉の開催であると共に、久しぶりのグラウンドでの開催でした。保護者や地域の方が大勢応援に来てくださり、子供にとって貴重な一日となりました。また、7月には、小・中学部でプール水泳を行いました。入学後、初めてプールに入る子供たちもいて、子供たちは授業のある日をとっても楽しみにしていました。

他校との連携では、交流学习を行うことができました。交流学习は、子供たちが自分の住んでいる地域の小・中学校に出向いて交流する居住地校交流と、学部ごとに近隣の学校に出向いたり、来ていただいたりして交流する学校間交流があります。今年度は、居住地校交流を9校と計9回実施することができました。はじめは緊張した面持ちだった子供が、他校の子供と一緒に活動することでお互いに打ち解け、最後は別れを惜しむ姿が見られました。学校間交流は、3校と計5回交流することができました。3校のうちの一つは、高等学校との交流でした。当校の生徒は、高等学校の生徒が入ることによって戸惑う場面もありましたが、他校の生徒にお手本を見せたり、いつも以上に頑張ったりする姿が見られました。

その他にも、各学部がゲストティーチャーを招いたり、地域に出向いてお話を聞いたりするなど、地域の人材や資源を活用した教育活動を展開してきました。

このように、今年度は、アフターコロナからの第一歩として、コロナ禍の成果を基に教育活動を効果的に行うという視点から、以前行っていた教育活動を見直しながら実施してきました。来年度も、新しい学びのあり方を考え、よりよい教育活動を実施していきたいと考えております。

さて、今年度の教育活動が終了します。保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様には、1年間、本校の教育活動に御理解と御協力を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。4月から、子供たちは新たな学年、学部、社会での時間が待っています。それぞれの場所で、自分にできること、やるべきことに精いっぱい取り組んでほしいと思います。卒業・進級おめでとうございます。

卒業・進級を祝う会

卒業・進級を祝って、学部毎にあたたかい雰囲気のを開くことができました。

小学部 進級を祝う会

3月1日～5日に進級を祝う会を行いました。学年ごとの共同制作で大きなバスを作り、会の中で今の学年のバスから新しい学年のバスに乗り換えました。みんなとゲームをしたり、思い出写真を見たりした後は、みんなが作った素敵なプレゼントを貰い、嬉しそうな表情が見られました。

小学部 卒業を祝う会

3月15日に「卒業を祝う会」を行いました。プレゼントタイムでは、1・2・3年生は「6ねんせいそつぎょうおめでとう」の垂れ幕とメッセージカードを、4・5年生は「手話ソング」をプレゼントしました。卒業生も共同作品で「ありがとう」の気持ちを発表し、感謝の気持ちを伝え合いました。



新しい学年のバスに乗り換えよう



6年生からのメッセージ

中学部 卒業を祝う会



レクリエーション



卒業生からのプレゼント



在校生からのプレゼント

2月27日に、中学部「卒業を祝う会」を行いました。レクリエーションでは、在校生と卒業生がペアになり、大きな段ボールをカラーボールで一杯にするゲームをしました。途中、保護者の方にも参加していただきながら、カラーボールを入れていくことで、段ボールに彫られた『祝☆卒業』の文字を浮かび上がらせることができました。

卒業生は卒業制作として、色とりどりの花を植えたプランターを作り、在校生にプレゼントしました。また、在校生は動画、花束、メッセージカードを卒業生にプレゼントし、お互いに感謝の気持ちと来年度に向けたエールを伝え合いました。

高等部 卒業を祝う会



在校生出し物「巨大カルタ」



集合写真



卒業生出し物「手話ソング」

2月16日、高等部の卒業を祝う会を行いました。壁面には、一人一人がアイデアを出し合って作ったメッセージを飾りました。

在校生の出し物は「高等部巨大カルタ」でした。卒業生が好きなものを取り札にして、楽しみながら卒業生一人一人のことを、より良く知る時間とすることができました。

卒業生の出し物は、YOASOBI「ハルカ」の手話ソングと在校生への手紙でした。手話ソングには、卒業生がみんなに伝えたいメッセージが込められ、感動的な発表となりました。

卒業生・在校生が互いに感謝の気持ちを伝え、楽しい思い出の1ページを刻むことができた素敵な会でした。

いつも おいしい給食ありがとうございます

～校内学校給食週間～

1月22日～26日まで校内学校給食週間でした。23日の給食朝会では、高等部の給食委員会の生徒による工夫を凝らした劇と給食クイズで、マナーや食について楽しく学びました。他にも「給食かみかみ放送」、「ポスター掲示」、「給食センターのみなさんへのお手紙作り」など、食について改めて考える週間になりました。



小学部：給食の道具を使って調理員さんのお仕事体験



中学部：給食の牛乳パックを小さくたんでSDGs



高等部：給食朝会での食べ物の栄養についての寸劇

1年間を振り返って

小学部

新型コロナウイルスが5類に分類され、以前の生活が戻ってきたこの1年間は、子供たちが自分の課題と真剣に向き合い、充実した1年間でもありました。日々の授業や、数々の学校行事を通して、今までできなかったことや苦手だったことが、頑張ることですれずつできるようになり、うれしそうな表情を浮かべる子供たちをたくさん見ることができました。

4月からは新しい生活が始まりますね。新しい学年に上がり、子供たちが今まで以上に元気いっぱいの学校生活を送ることを、心より願っております。

小学部主事 安藤 剛

中学部

この一年間の一人一人の頑張りは素晴らしかったです。作業学習では集中して製品を作り、販売活動で自分の作った製品を買ってもらえる喜びを味わいました。体育では汗だくになって走ったりダンスをしたりしました。音楽ではリズムにのって身体を揺らし笑顔があふれました。生活単元学習をはじめ、かかわり合いながらの学習が増えた中で、どうやって折り合いを付けていくかも学び、みんなで成長できました。学部全体で動く時には、お互いに声を掛け合い、協力できる中学部でした。

新年度も自信をもって沢山のことに挑戦してください。さらなる活躍を願っています。

中学部主事 滝田 恵子

高等部

たくましく成長できた1年間でした。私の好きな時間、清掃についてお伝えします。「手と足は、人のために動かすもの」という言葉を聞いたことがあります。それにピッタリの姿が毎日見られていました。慎重に清掃を進める1年生。広い範囲の清掃場所を黙々と掃除する2年生。そして、丁寧かつ笑顔で行う3年生。みんなのために、一生懸命掃除をする姿は、高等部の目指す「働き続ける大人」そのものでした。

これからも誰かのために、労を惜しまず働く心を大切に、さらなる成長を願っています。

高等部主事 中澤 民枝